

平成 17 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏 名 河内将芳

最終学歴	1999年3月京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了
取得学位	京都大学博士（人間・環境学）
所属学会	日本史研究会・歴史学研究会・史学研究会・史学会・大阪歴史学会・日本古文書学会・仏教史学会・芸能史研究会・中世史研究会・戦国史研究会
現在の専門分野	日本中世史
研究課題	日本中世における都市社会史の研究

【研究上の特記事項】

1995年より清水寺史編纂委員会のメンバーとして京都清水寺において文書調査および『清水寺史』刊行作業を継続中。

.....

【教育上の特記事項】

.....

【社会的活動】

滋賀県日野町史編集委員(2004年から)、滋賀県秦荘町史編集委員(2004年から)、滋賀県愛知川町史執筆委員(2003年から)、世界人権問題研究センター研究第2部嘱託研究員(2001年から)、平安京・京都研究集会世話人(2003年から)、中世都市研究会京都大会実行委員(2005年度)、NHK文化センター「古文書に親しむ」講師(2003年から)、京都市・ラポール学園春期講座1回

【学内活動】（学内職歴を含む）

学生相談員(2005年度)、通信教育運営委員(2005年度)

.....

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1 秦荘の歴史 第1巻 古代・中世	編著	2005年3月	滋賀県秦荘町	滋賀県秦荘町域の古代から中世にかけての歴史が叙述されたもの。第3章第2節258-279p、第4節296-319p、第4章第2節342-361p、第4節390-414pを担当。
2 近江愛知川町の歴史 第1巻 古代・中世編	共	2005年12月	滋賀県愛知川町	滋賀県愛知川町域の古代から中世にかけての歴史が叙述されたもの。第5章第1節610-624p、第2節625-635pを担当。
3 京都の地名由来辞典	共	2005年12月	東京堂出版	現在の京都市域にある町名について、町名ごとに文献史料でわかる由来を叙述したもの。
(学術論文)				
1 戦国期祇園会の再興と恠異	単	2005年7月	『立命館文学』590	戦国時代に再興された京都祇園会について、その再興の契機に恠異があったことを論じた。19-29p
(学会発表)				
1 中世の祭礼と都市空間－祇園会御輿渡御と御旅所を素材に－	単	2005年9月	中世都市研究会2005京都大会	中世京都の現実的な空間と認識された空間の関係を祭礼を素材にして論じた。
2 戦国期祇園会再興と「祇園会山鉾事」	単	2005年10月	第38回日本古文書学会大会	中世祇園会山鉾の具体相を伝える唯一の史料「祇園会山鉾事」について、古文書学的・史料学的な分析をおこなった。
3 京都東山大仏と「救済」	単	2006年2月	世界人権問題研究センター研究第2部研究会	京都東山に豊臣秀吉によって建立された大仏について文献史的な再検討をおこなうとともに、その意味を「救済」とかかわって論じた。
(その他)				
1 書評・藤井學『法華文化の展開』『法華衆と町衆』法蔵館	単	2005年6月	『洛北史学』7	該当著書の書評。124-129p
2 書評・清水克行『室町社会の騷擾と秩序』吉川弘文館	単	2005年10月	『日本史研究』518	該当著書の書評。51-56p